

平成 20 年度 全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙分析

枚方市教育委員会

生活習慣や学習環境と学力との相関関係

児童生徒質問紙調査から、学力との相関関係が比較的強いと考えられる項目を取り上げて分析を行っています。

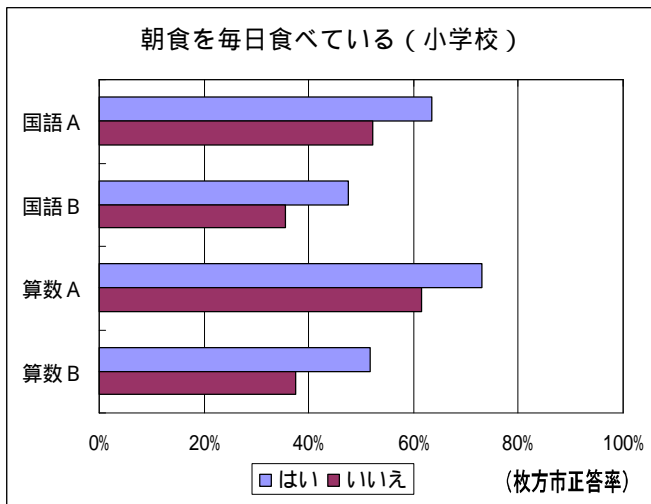
質問紙調査 = 児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙による調査

1. 朝食を毎日食べている

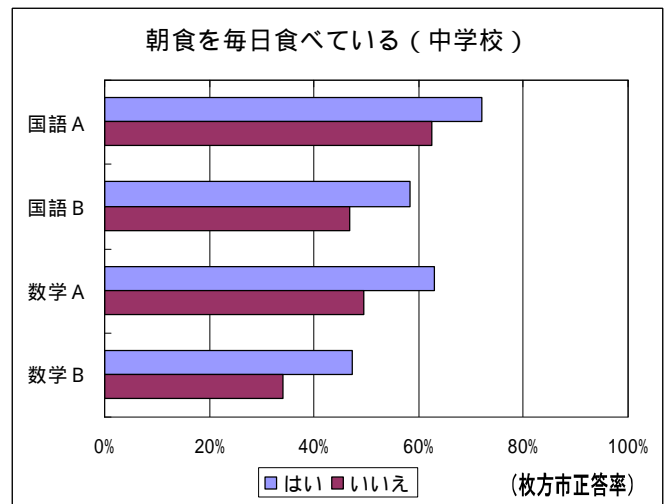
朝食を毎日食べている児童生徒のほうが、どの教科においても正答率が高いことが、下のグラフからわかります。

朝食を毎日きちんと食べることは、大切なことです。ところが、本市では、朝食を毎日食べている児童生徒の割合が、全国に比べてやや低くなっています。

小学校第 6 学年（枚方市）

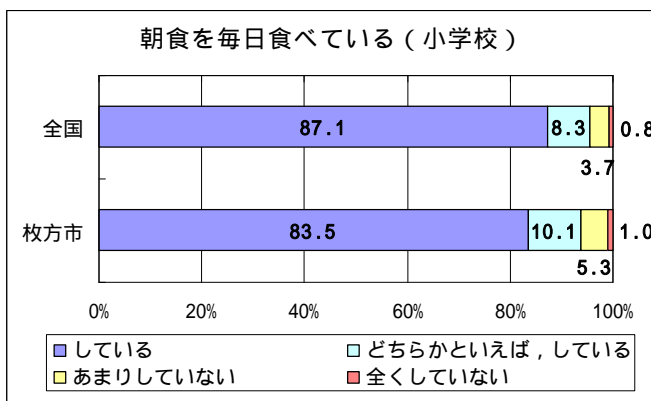


中学校第 3 学年（枚方市）

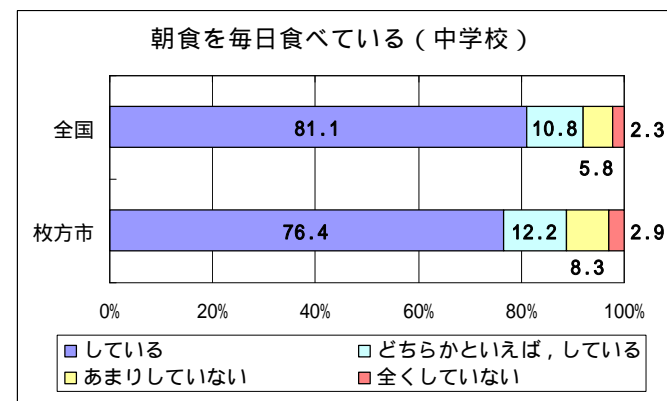


はい = している + どちらかといえば、している いいえ = あまりしていない + 全くしていない

小学校第 6 学年



中学校第 3 学年

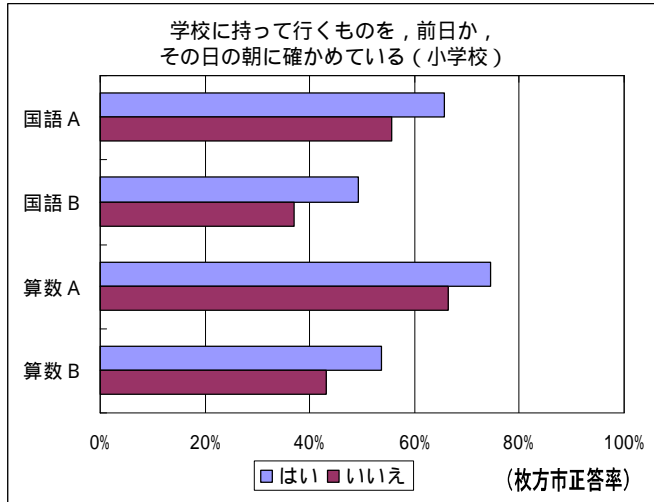


2. 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている

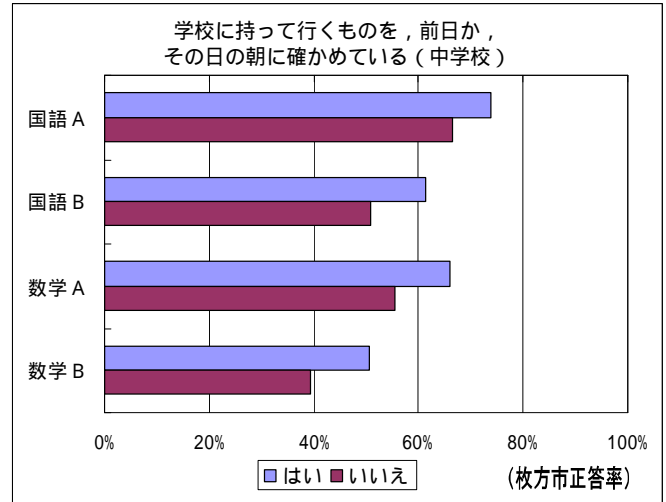
学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている児童生徒のほうが、どの教科においても正答率が高いことが、下のグラフからわかります。

しかし、朝食と同様に本市では、学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている児童生徒の割合が、全国に比べてやや低くなっています。

小学校第6学年（枚方市）

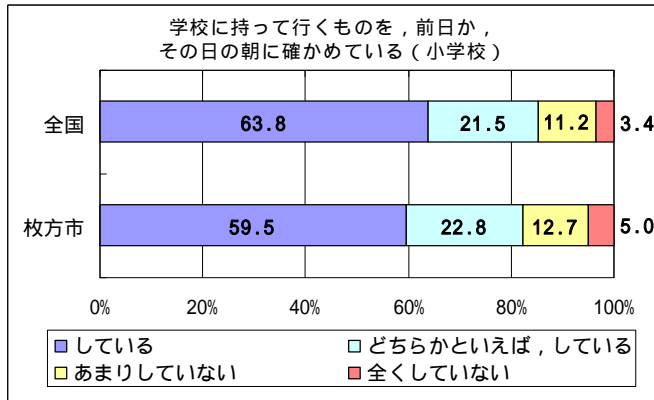


中学校第3学年（枚方市）

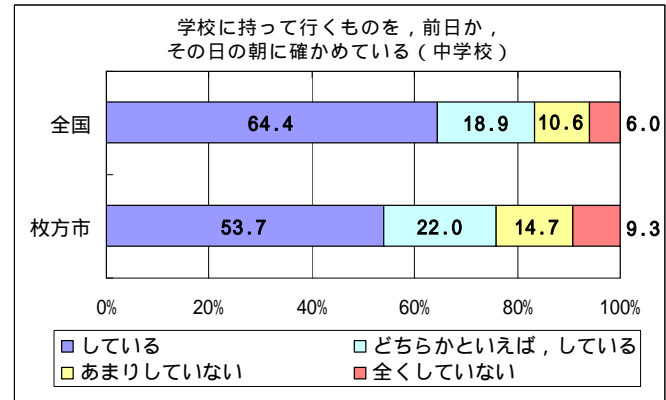


はい = している + どちらかといえば、している いいえ = あまりしていない + 全くしていない

小学校第6学年



中学校第3学年

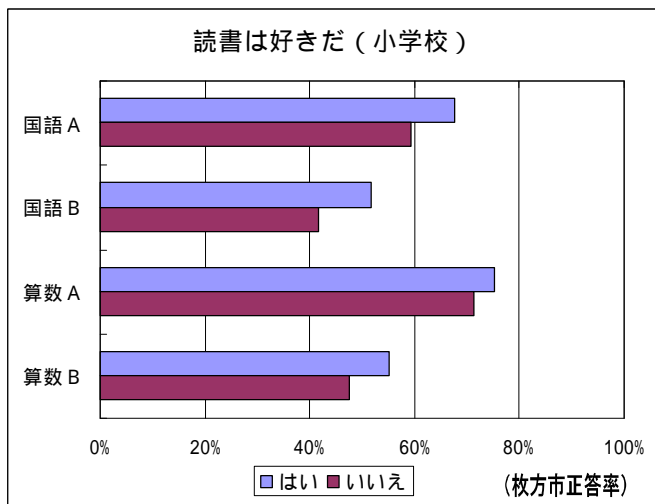


3. 読書は好きだ

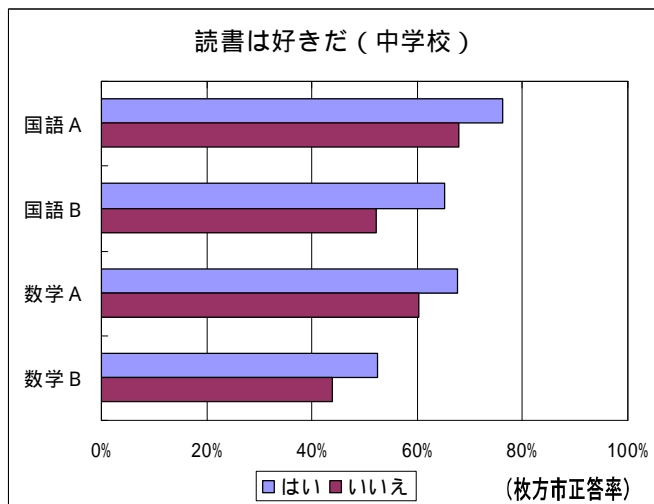
読書が好きな児童生徒のほうが、どの教科においても正答率が高いことが、下のグラフからわかります。

しかし、本市では、読書が好きな児童生徒の割合が、全国に比べてやや低くなっています。特に、中学校にその傾向が、より顕著にあらわれています。

小学校第6学年（枚方市）



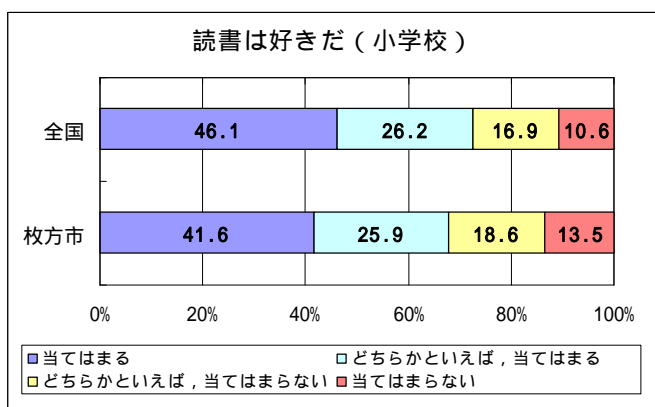
中学校第3学年（枚方市）



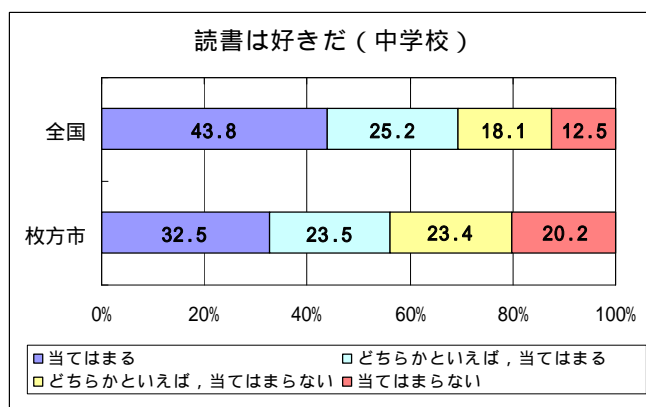
はい = 当てはまる + どちらかといえば、当てはまる

いいえ = どちらかといえば、当てはまらない + 当てはまらない

小学校第6学年



中学校第3学年

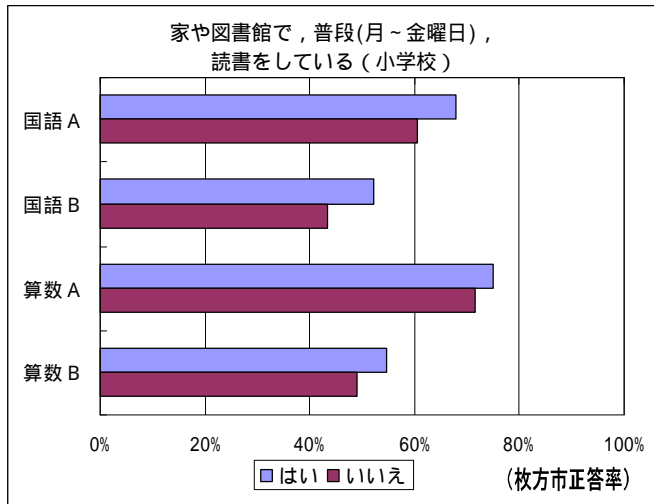


4. 家や図書館で、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか

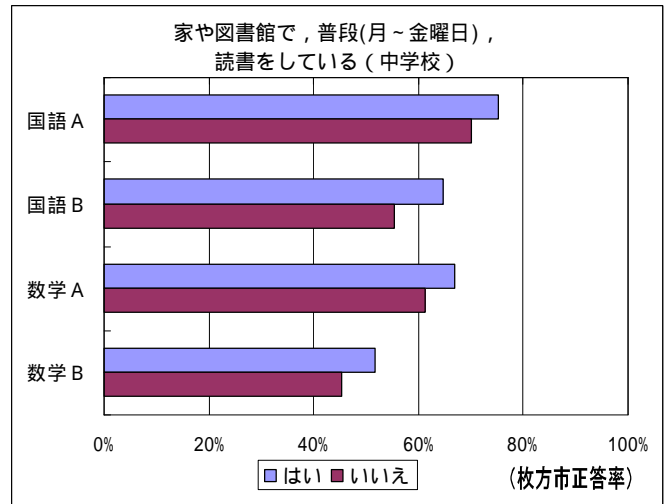
平日に、家や図書館で読書をしている児童生徒のほうが、どの教科においても正答率が高いことが、下のグラフからわかります。たとえ10分であっても、毎日読書をする習慣が大切だということです。

しかし、本市では、読書の時間は、全国に比べてやや低くなっています。特に、全く読書をしていない児童生徒の割合が高いことが課題です。

小学校第6学年（枚方市）

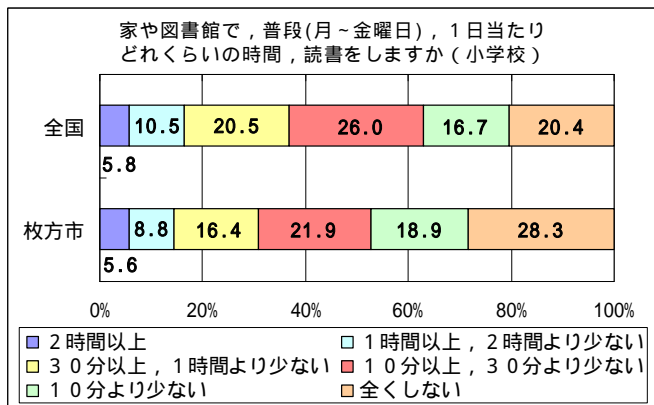


中学校第3学年（枚方市）

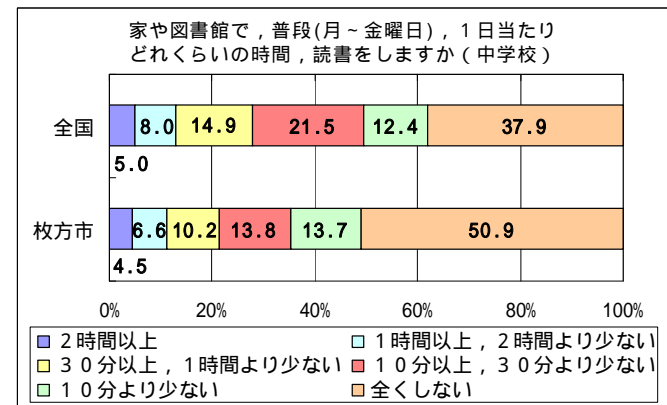


はい = 少しでも読書をしている いいえ = 全く読書をしていない

小学校第6学年



中学校第3学年

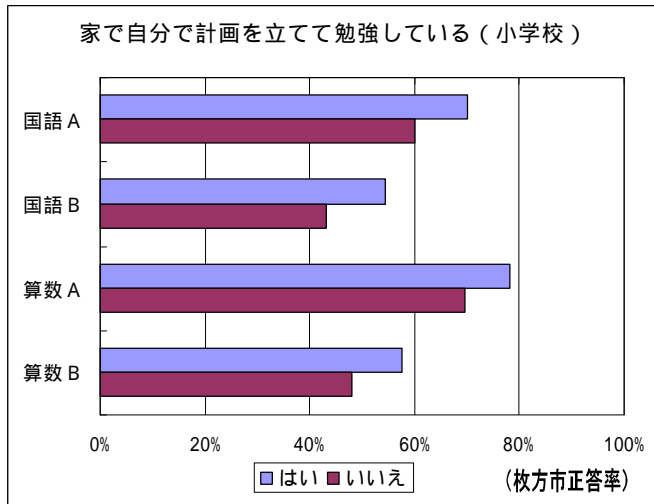


5. 家で自分で計画を立てて勉強している

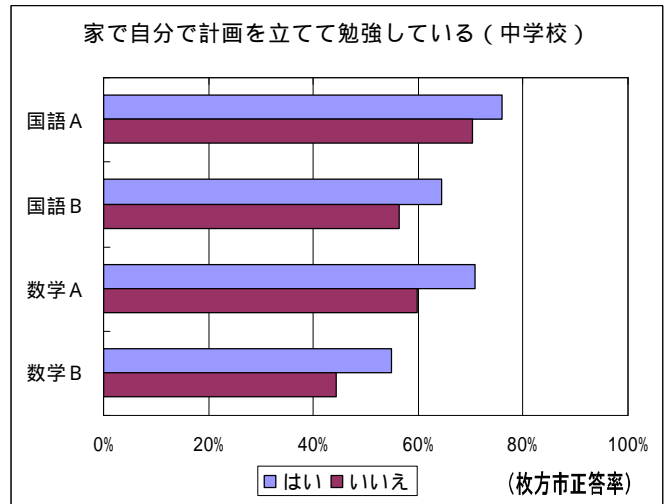
家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒のほうが、どの教科においても正答率が高いことが、下のグラフからわかります。自分で進んで勉強しようとする自学自習力を養うことが重要です。

本市では、家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、小学校では全国に比べてやや低いものの、中学校では、全国よりもやや高くなっています。

小学校第6学年（枚方市）

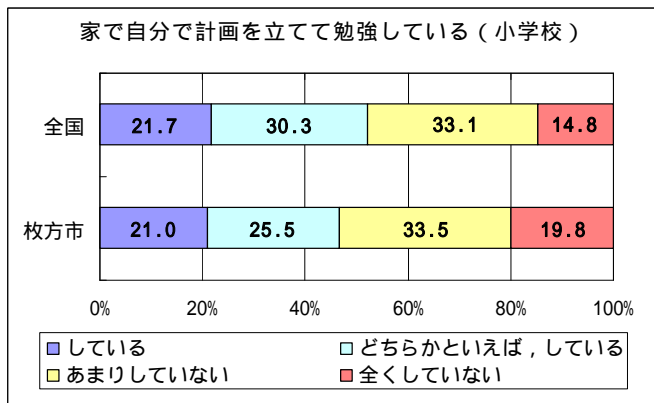


中学校第3学年（枚方市）

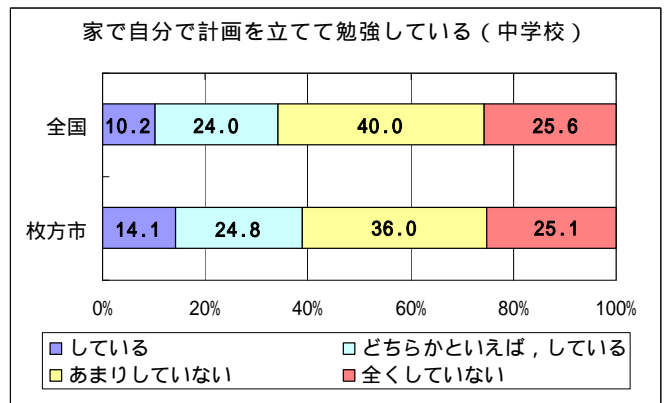


はい = している + どちらかといえば、している いいえ = あまりしていない + 全くしていない

小学校第6学年



中学校第3学年

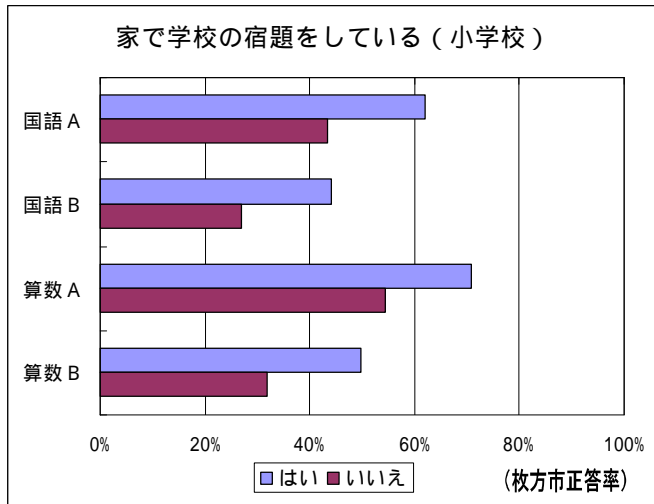


6. 家で学校の宿題をしている

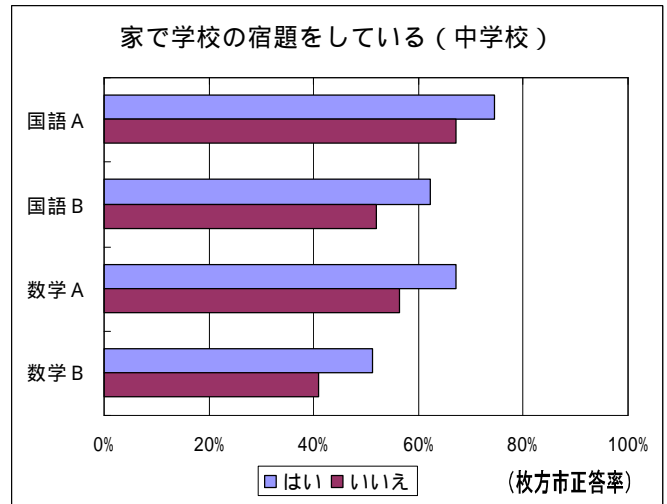
家で学校の宿題をしている児童生徒のほうが、どの教科においても正答率が高いことが、下のグラフからわかります。特に小学校において、その傾向がより顕著にあらわれています。

本市では、家で学校の宿題をしている児童生徒の割合は、小学校では全国に比べてやや高いものの、中学校では、全国よりもやや低くなっています。

小学校第6学年（枚方市）

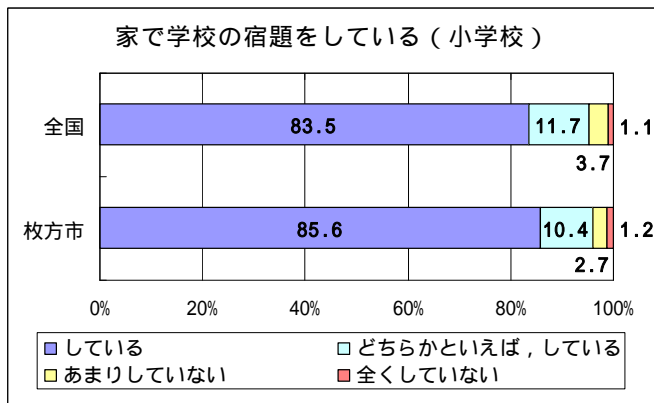


中学校第3学年（枚方市）

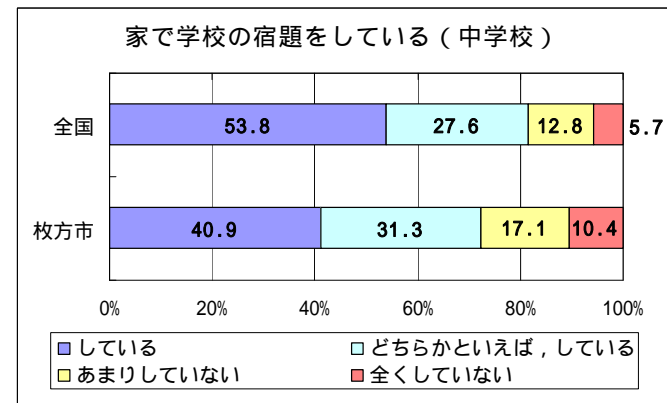


はい = している + どちらかといえば、している いいえ = あまりしていない + 全くしていない

小学校第6学年



中学校第3学年

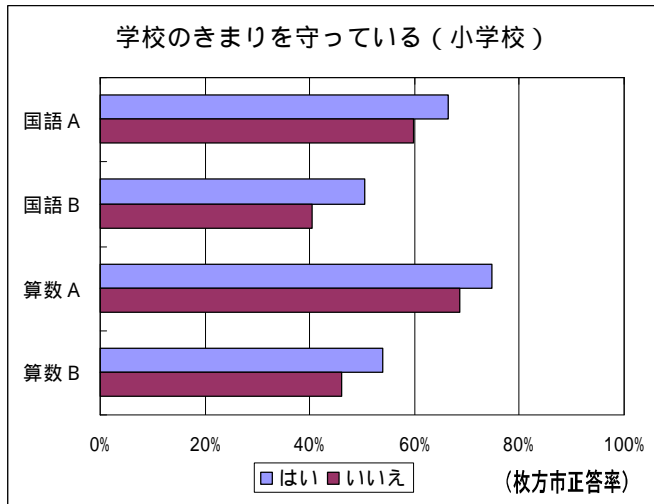


7. 学校のきまり(規則)を守っている

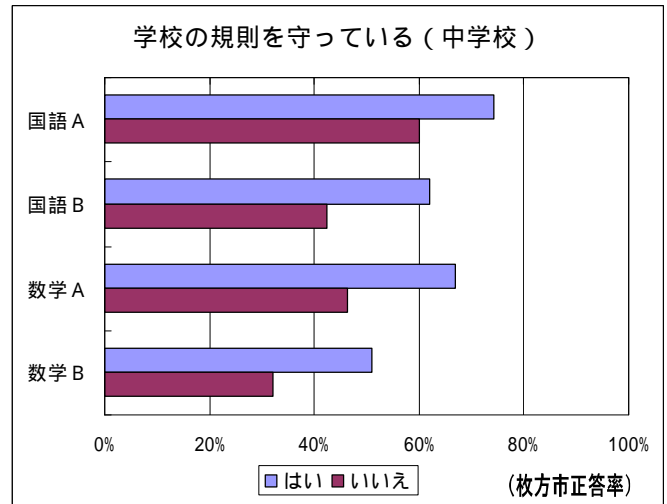
学校のきまり(規則)を守っている児童生徒のほうが、どの教科においても正答率が高いことが、下のグラフからわかります。特に中学校において、その傾向がより顕著にあらわれています。

本市では、学校のきまり(規則)を守っている児童生徒の割合は、小学校では全国に比べてやや低いものの、中学校では、全国とほぼ同じとなっています。

小学校第6学年（枚方市）



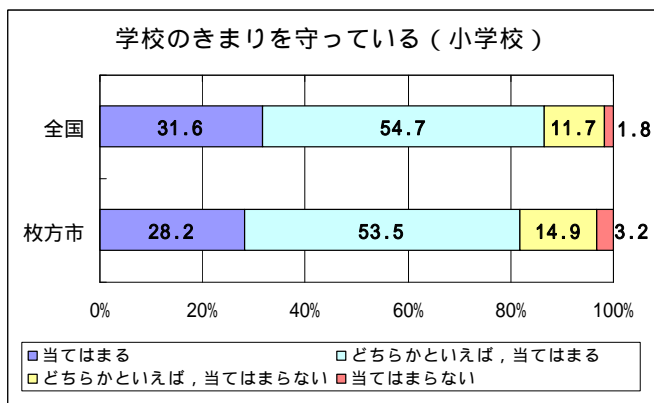
中学校第3学年（枚方市）



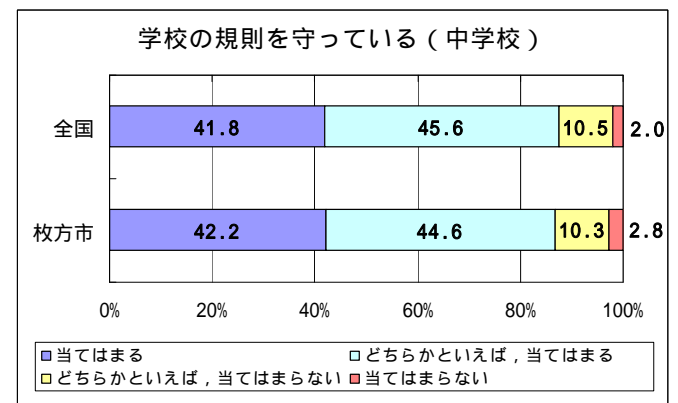
はい = 当てはまる + どちらかといえば、当てはまる

いいえ = どちらかといえば、当てはまらない + 当てはまらない

小学校第6学年



中学校第3学年



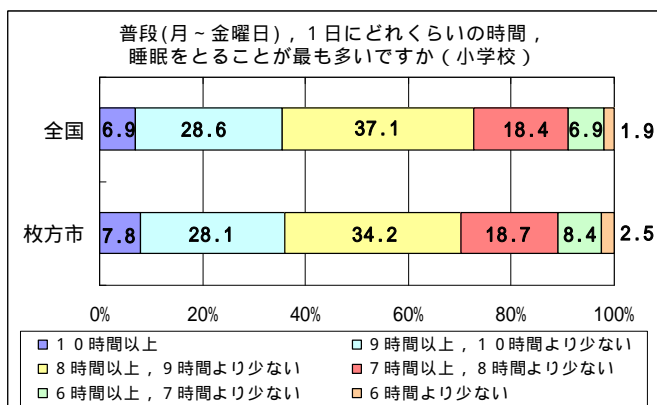
本市児童生徒の生活習慣の傾向

児童生徒質問紙調査から、いくつかの項目を取り上げて、平成 19 年度との比較を行っています。

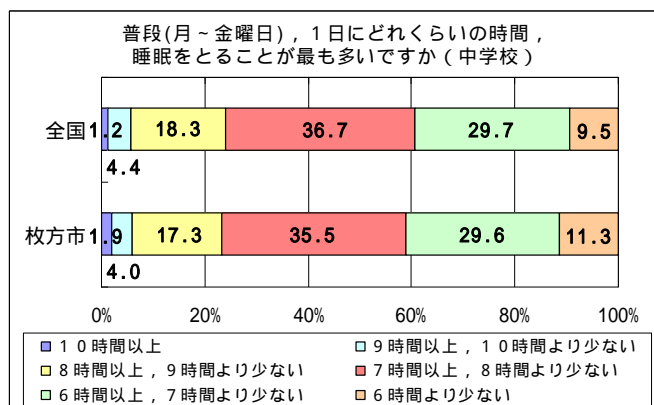
1. 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか

本市では、睡眠時間は、平均してみると、全国に比べてやや短い傾向が見られます。
平成 19 年度と比較しても、大きな変化は見られません。

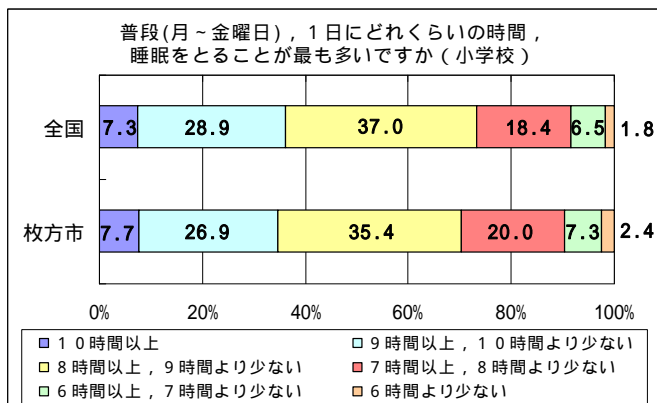
小学校第 6 学年（平成 20 年度）



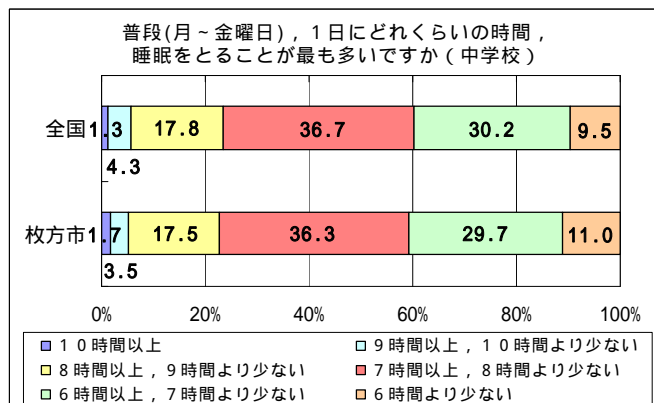
中学校第 3 学年（平成 20 年度）



小学校第 6 学年（平成 19 年度）



中学校第 3 学年（平成 19 年度）

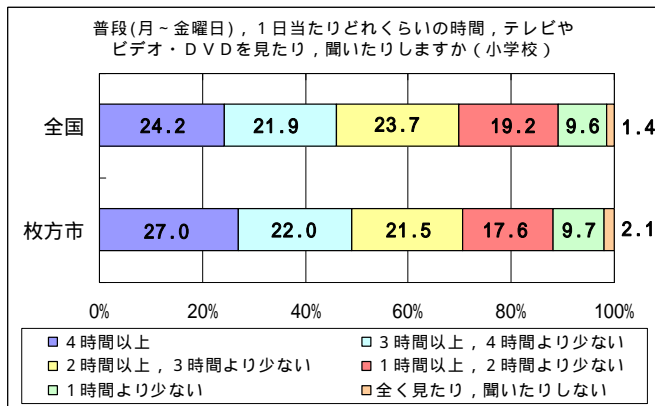


2. 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか

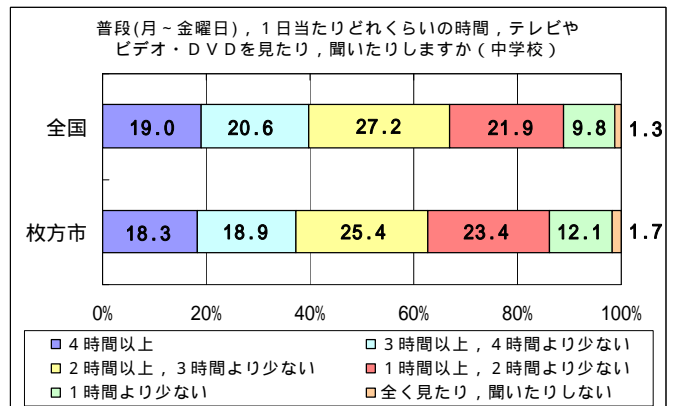
本市では、テレビなどを見る時間は、全国に比べると、小学校ではやや長く、中学校ではやや短い傾向を示しています。

平成19年度と比較すると、平成20年度のほうが、全国も本市も、テレビなどを見る時間が長くなっています。

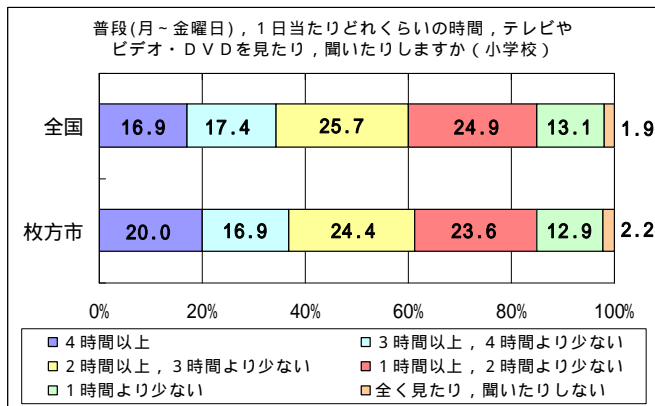
小学校第6学年（平成20年度）



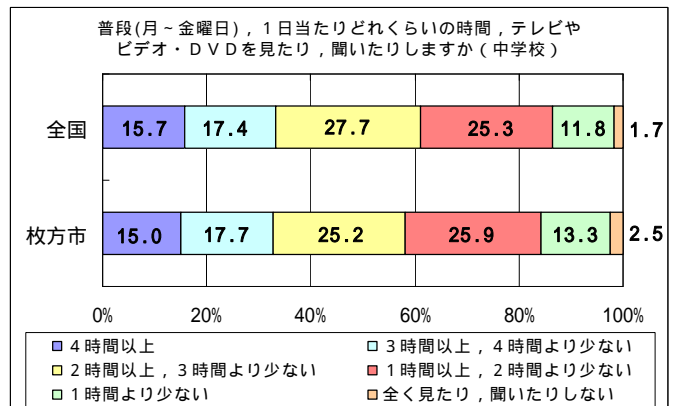
中学校第3学年（平成20年度）



小学校第6学年（平成19年度）



中学校第3学年（平成19年度）

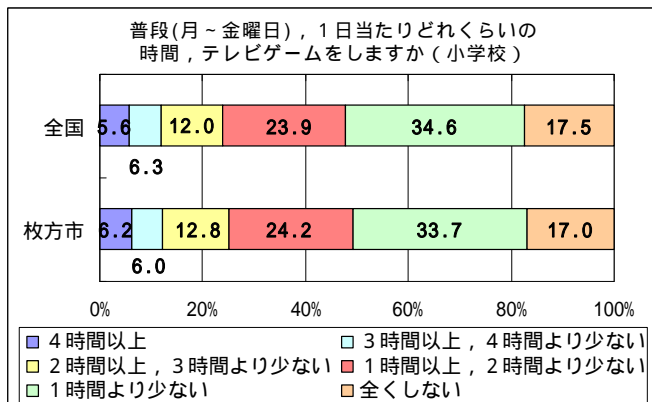


3. 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

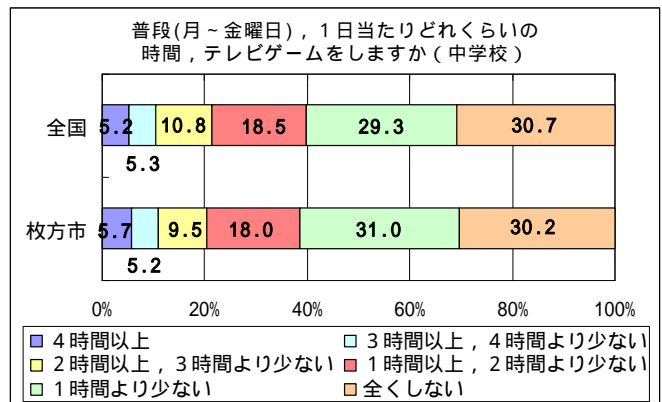
本市では、平成20年度において、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲームを含む)をしている時間は、小学校では、全国よりわずかに長い傾向ですが、中学校では、全国よりやや短い傾向が見られます。

平成19年度の質問には、「テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲームを含む)やインターネットをしますか」というように、インターネットの時間も含まれているため、平成20年度と単純な比較はできませんが、傾向としては、ほぼ同様であるといえます。

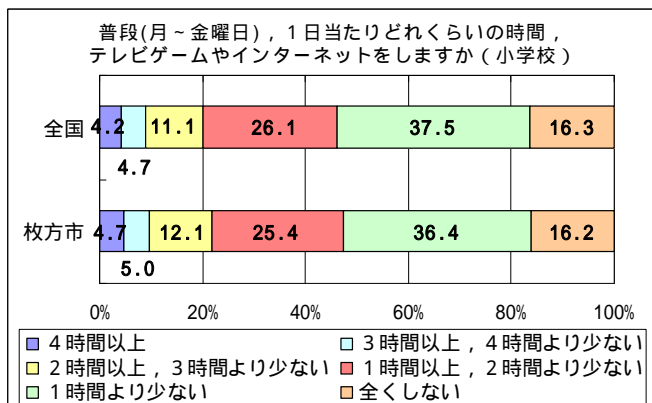
小学校第6学年 (平成20年度)



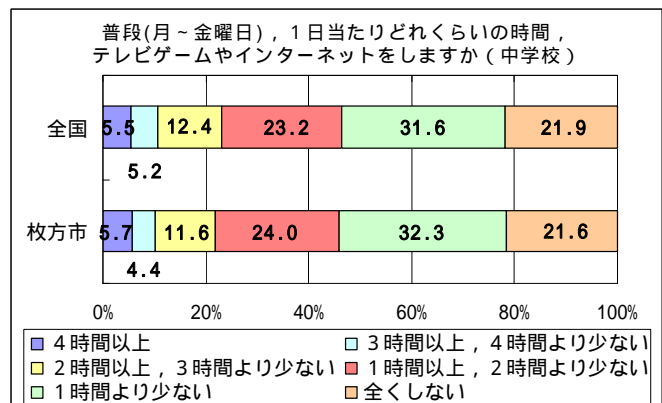
中学校第3学年 (平成20年度)



小学校第6学年 (平成19年度)



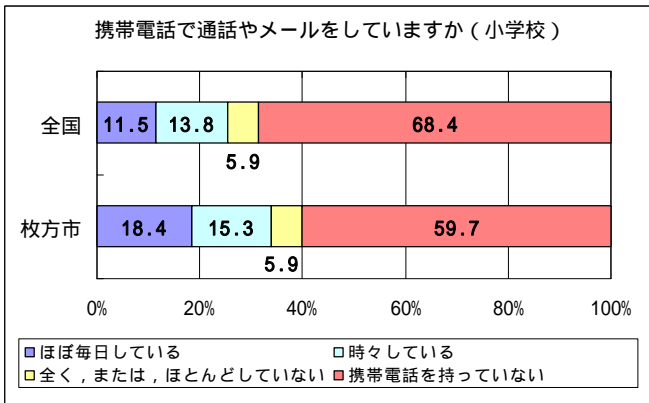
中学校第3学年 (平成19年度)



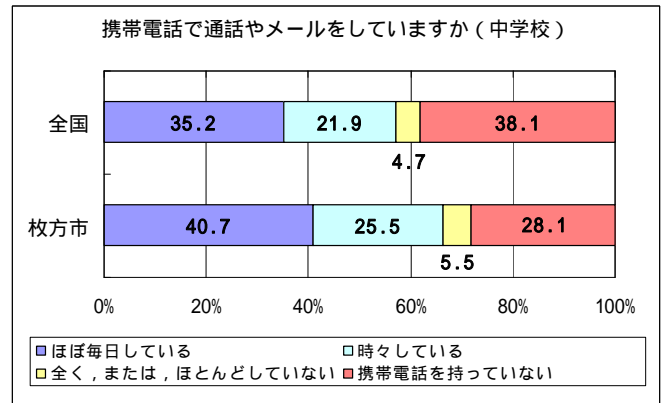
4. 携帯電話で通話やメールをしていますか

本市では、携帯電話を使用している児童生徒の割合は、全国に比べてやや高くなっています。また、全国も本市も同様に、平成19年度よりも、平成20年度のほうが所有率が上がり、児童生徒への携帯電話の普及が進んでいることが伺えます。

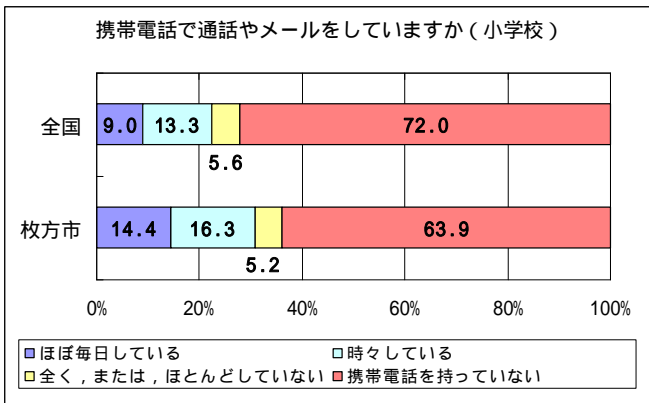
小学校第6学年（平成20年度）



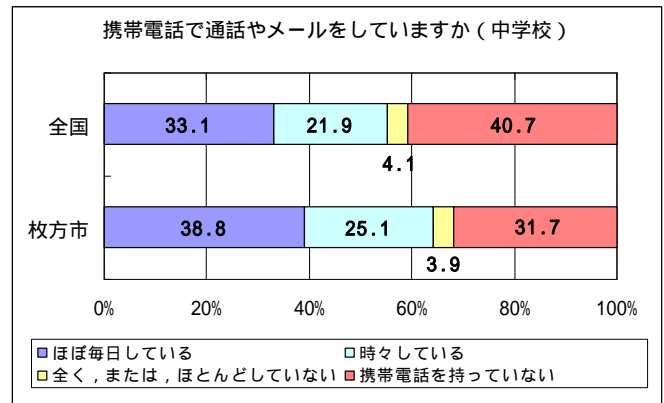
中学校第3学年（平成20年度）



小学校第6学年（平成19年度）



中学校第3学年（平成19年度）



まとめ

これまで見てきたように、生活習慣と学力には、関連性があると考えられます。

グラフで示されているように、「朝食を毎日食べること」「学校に持っていくものをきちんと確認すること」「学校以外で読書をする事」「家で自分で計画を立てて勉強すること」「家で学校の宿題をする事」等については、本市は全国と比較すると、やや低いものでした。

家庭での生活習慣も、学力に大きく関わっていると考えられることから、保護者や地域に協力をお願いしながら、児童生徒の家庭での生活・学習習慣の形成を支援していく必要があります。

学力調査においては、本市は全国とほぼ同じ結果となっています。

本市はこれまで、児童生徒の学力向上を目指して、以下のように取り組んできました。

- ・各学校における校内研修等を、全国平均より高い頻度で行っていること
- ・授業参観や公開授業を、全国平均より高い頻度で行っていること
- ・枚方市の学力診断テストや平成 19 年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、教育課程に生かしてきたこと
- ・これまでに国や府、市の学力向上のための研究指定を多くの学校が受け、教員の指導力向上に努めてきたこと

教育委員会においては、昨年度の全国学力・学習状況調査の分析結果から、児童生徒が自ら進んで学習しようとする意欲を高めることが、学力向上のため必要であると判断し、昨年 12 月、ICT・パソコンを使った自学自習力支援システムをモデル校 15 校に導入しています。その成果を踏まえ、本年 7 月には同システムを全小中学校に配備するとともに、10 月から、退職教員等の外部人材を活用した「放課後自習教室」を全小中学校に順次開設しています。また、きまり(規則)を守ることも重要であることから、小中学校の連携をさらに進めるとともに、授業規律の確立に取り組んでいきます。